

関東同窓会のホームページがオープンしています。ご覧ください。
<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant/>

関東同窓会のe-mail。近況をお知らせください。
uedakant@m4.dion.ne.jp

第44回総会に参加しましょう！ 7月2日 土曜日



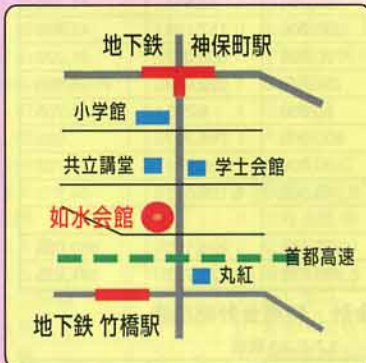
会費未納の方もご心配なく！「会費を払っていないので、まとめて取られるのが心配」という方がおられます。会費は参加した年からの分です。選及納入の必要無。安心してご参加を！

母校ダンス同好会がやってくる！

昨年の室内楽班に続き今年も母校ダンス同好会を招請します。同会はダンスを愛好する女子生徒たちが集まって、日ごろ練習を積んでいるそうです。昨年の3月ニカラグアのサルサバンド“マコーヤ”来演の際見事なパフォーマンスを披露して上田市民の喝采を受けたのは未だ記憶に新しいところです。長野県高等学校マーチングバンド、バトントワリング優秀賞受賞の実績もあります。

彼女達の軽快でフレッシュな踊り、ご期待ください！

(総会の詳細は2ページにもあります。)



- 地下鉄 (半蔵門線・都営三田線・新宿線) 神保町駅下車 A8出口 徒歩3分
- 地下鉄 (東西線) 竹橋駅下車 1b出口 徒歩4分

【総会日時】
7月2日 (土曜日)
12時 受け付け開始
13時～16時 総会・演技・懇親会

【会場】
如水会館 千代田区一ツ橋2の1の1
電話 03 (3261) 1101

【会費】 一般 8000円 学生 無料

会長候補に前田喜美子さん54期

第44回総会(土曜) 初の女性候補

関東同窓会第44回総会は7月2日、神田一ツ橋の如水会館で開催されます。役員改選期にあたり、今回初めて公募方式(自薦・他薦)で会長候補を募集、11人の候補者(いずれも他薦)の中から役員選考委員会で審議した結果、54期の前田喜美子さん(パワーズ前田)を会長候補として推薦し、4月26日の幹事会で正式候補として承認されました。大会で選出されれば第14代で初の女性会長が誕生することになります。

前田さんは昭和31年卒、国際基督教大学卒業後、米國航空会社に勤務、その後米人実業家と結婚して渡米。数年前に夫と死別して日本に戻り日米でインテリア・不動産会社を経営して活躍しておられます。役員選考委員会では選考理由として①国際経験、実業経験が豊富で識見が高い②会員に女

性層が増えているなか、同窓会の活性化に期待でき、などを挙げて幹事会に諮りました。幹事会の論議では女性会長候補に多くが賛同する一方、同期(54期)の会長が連続することに賛同が出ましたが、現在、会の活動を支えている層が50期代であることから初の女性会長を支えていこうという方向で承認されました。

初の女性会長選出に向け、多数の会員、特に女性会員の総会への出席を期待しています。

〔前田さん以外の被推薦候補は次の通り〕
中村禮三(32期) 堀内茂雄(44・4期)
堀内忠久(53期) 石井光春(54期) 馬場武彦(54期)
宮島光男(55期) 成田邦夫(56期) 寺島敏士(58期)
金子親碩(58期) 倉島今朝徳(58期)

第44回総会に参加しましょう!

実行委員は、58、63、68、73、78期の方々をお願いします。担当期の方は早めにご参集下さい。

●●式次第●●

第1部：総会 13:00-13:45

会長挨拶、定例議事、新執行部選出他

第2部：懇親会 13:45-16:00

大会実行委員長挨拶、ダンス演技、懇親会

7月2日 如水会館
受付開始12時

●●平成16年度会務報告案●●

(平成16年4月1日-17年3月31日)

- (1) 第43回総会・懇親会 7月4日(日) 如水会館 参加者は、来賓、新卒者を含め総勢約230名。定例総会に続き第2部懇親会では、初めての企画として、母校室内楽班(長谷川和生先生指揮、班員役30名)を招待。クラシック音楽をはじめ、校歌などの素晴らしい演奏に参加者一同感動した。
- (2) 会報71、72号を6月、1月に8,000各部発行。全会員、母校生徒、教員、関西他支部等に配布好評を得た。HPの拡充、発行済み会報のデータ・ベース化。
- (3) 9月16日、同窓生による在校生対象の第2回目の社会講座を開催。関東同窓会よりは5名の講師が参加。
- (4) 会員有志ゴルフコンペ開催(2回)。
- (5) 関西、長野他支部総会に参加。東信、県高校同窓会連合会の、役員会、総会、に参加。
- (6) 2005年度役員改選、会長候補の公募を会報72号にて行った。
- (7) 決算・予算は数表のみ掲載

●●平成17年度 会務計画案●●

- (1) 第44回総会・懇親会
7月2日(土)如水会館
役員改選(会長候補は
公募による。)
実行委員担当：58、
63、68、73、78期。
母校班活動紹介企画
など。

●●平成16年度決算報告案●●

平成16年4月1日~17年3月31日 (単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	691,718	691,718	0	大会費	1,640,000	1,677,158	37,158
大会費収入	2,000,000	1,592,000	-408,000	会報費	2,350,000	2,490,609	140,609
会報広告料	100,000	120,000	20,000	交通費	100,000	83,655	-16,345
年会費収入	3,500,000	3,263,000	-237,000	通信費	200,000	157,193	-42,807
会議費収入	400,000	248,000	-152,000	会議費	680,000	608,077	-71,923
寄付金収入	100,000	302,000	202,000	渉外費	230,000	222,000	-8,000
雑収入	100,000	205,000	105,000	印刷費	30,000	5,295	-24,705
受取利息収入	0	4	4	事務費	800,000	799,307	-693
(小計)	6,200,000	5,730,004	-469,996	雑費	100,000	85,278	-14,722
合計	6,891,718	6,421,722	-469,996	(小計)	6,130,000	6,128,572	-1,428
				次期繰越金	761,718	293,150	-468,568
				合計	6,891,718	6,421,722	-469,996

●●平成17年度予算案●●

平成17年4月1日~18年3月31日 (単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	16年度予算	15年度決算	増減	科目	16年度予算	15年度決算	増減
前期繰越金	293,150	691,718	-398,568	大会費	1,600,000	1,677,158	-77,158
大会費収入	2,000,000	1,592,000	408,000	会報費	2,300,000	2,490,609	-190,609
会報広告料	200,000	120,000	80,000	交通費	100,000	83,655	16,345
年会費収入	3,300,000	3,263,000	37,000	通信費	200,000	157,193	42,807
会議費収入	250,000	248,000	2,000	会議費	700,000	608,077	91,923
寄付金収入	300,000	302,000	-2,000	渉外費	230,000	222,000	8,000
雑収入	150,000	205,000	-55,000	印刷費	10,000	5,295	4,705
受取利息収入	0	4	-4	事務費	800,000	799,307	693
(小計)	6,200,000	5,730,004	469,996	雑費	100,000	85,278	14,722
運営基金から繰り入れ	500,000	0	500,000	(小計)	6,040,000	6,128,572	-88,572
合計	6,993,150	6,421,722	571,428	次期繰越金	953,150	293,150	660,000
				合計	6,993,150	6,421,722	571,428

運営基金特別勘定 17.3.31現在

科目	前期繰越	当期	期末残高
運営基金	9,300,000	290,000	9,590,000
同利息	2,458,194	6,135	2,464,329
一般会計へ繰り入れ		0	
合計	11,758,194	296,135	12,054,329

普通預金： 三井住友/みずほ/東京三菱/U F J
郵便振替： 西麻布郵便局
定期貯金： 西麻布郵便局
定期預金： 三井住友 (備品；パソコン2セット等)

一般会計・特別会計総括表 17.3.31現在

科目	金額	科目	金額
現金	70,793	運営基金	12,054,329
普通預金	143,627		
郵便振替	78,730		
<運営基金用>			
定期貯金	5,205,200		
定期預金	3,791,823		
普通預金	3,057,306	次期繰越金	293,150
合計	12,347,479	合計	12,347,479

- (2) 会報73号(5月)
74号(1月) 発行。
- (3) 先輩訪問社会講座への参加。
- (4) 音楽リサイタル
(同窓会員アーティスト)、
ゴルフコンペ、
企業訪問など。
- (5) HP 拡充。
既発行会報データ・
ベース化。



71期 若林昌二氏、母校教頭に就任

この4月より上田高校教頭を命ぜられ、着任いたしました若林昌二と申します。昭和48年に71期として上田高校を卒業致しました。どうぞ宜しくお願いいたします。

上田高校に赴任してひと月になりますが、生徒達は勉強に班活にと一生懸命に高校生活を送っています。教育を巡る状況には大変に厳しいものがありますが、お寄せいただいておりますご期待に応えられる学校づくりを目指して、精一杯の努力を傾ける所存であります。同窓生の皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

上田高校 教頭 若林 昌二

母校生徒の進路状況

上田高等学校 進路指導室 土屋正明先生

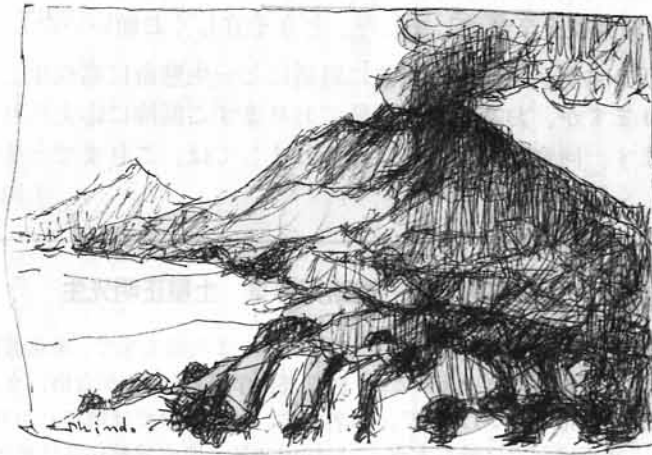
平成16年度卒業生、過年度卒業生とも国公立・私立大ともに合格者が昨年を大きく上回り、受験生たちはよく健闘したといえると思います。国公立大学については、現役生の合格者数が130名で、昨年より45名の増、数だけからいうとここ30年ほどでは最も大きな数字です。現・浪合わせては211名でした。大学別では地元信州に計57名が合格（うち現役43名）、他に主な大学では、北海道2（同2）東北10（同5）、筑波7（同4）、東京2（同1=文II）、東京外語2（同2）、名古屋2（同1）、金沢11（同7）、京都4（同1）、大阪3（同2）

などです。また浪人生で、東京芸術の美術にも合格者が出ました。医学部医学科には9名が合格、うち現役生は信州、秋田、群馬の3名です。私立大学では例年どおり浪人生の健闘が目立ち、合計で早稲田29名、慶応義塾10名は例年並みでしたが、中央、明治、東京理科、日本で35~40名、また立命館も22名など、いずれも昨年を大きく上回りました。この勢いをこれからも持続できるよう、一層の努力をしてまいりたいと思っております。

	16年	15年	14年	神戸	0	3	0	埼玉工業		1	玉川	4	1	金沢工業	3	2	大妻女子大短大	1	1
北見工業	0	1	0	奈良女子	1	1	0	東京国際		1	多摩美術	1	3	北陸	5	3	上智短大		1
旭川医科	1	0	0	奈良教育	0	1	0	獨協	11	5	大東文化	4	3	常葉学園		1	女子栄養大短大		1
北海道	2	2	1	高知	1	1	0	獨協医科	1	0	中央	39	23	諏訪東京理科		1	埼玉医科大短大		1
岩手	0	1	0	島根	0	0	1	文教	9	6	津田塾	8	4	岐阜聖徳学園		1	東京聖徳短大		1
秋田	3	0	1	九州	1	0	0	目白		1	帝京	3	3	聖雲クリスト	2	2	実践女子大短大		1
東北	10	11	5	鹿児島	0	0	1	川村学園女子		1	東海	12	3	愛知		1	昭和女子大短大		1
宮城教育	0	0	1	国立計	182	141	136	明海		1	東京音楽		1	愛知みずほ		1	東京農業大短大		1
山形	1	3	6	釧路公立	0	1	0	神田外国語	1	2	東京家政	4	3	中部		1	飯田女子短大		1
福島	2	2	0	はこだて未来	0	1	0	淑徳	0	2	東京工科	5	1	南山	2	1	上田女子短大		1
茨城	5	6	3	国際教養	1	0	0	聖徳		1	東京工芸	4	4	日本福祉	1	3	岐阜医療技術短		1
筑波	7	7	8	会津	0	1	1	千葉科学	3	1	東京女子	5	5	名城		1	武庫川女子短大		1
宇都宮	0	3	7	群馬県立女子	3	3	0	千葉工業	1	5	東京女子医	2	0	皇學館		1	沖縄女子短大		1
群馬	8	6	8	群馬県民健康科学	1	0	0	麗澤	0	3	東京造型		1	京都外国語	0	1	私立短大計		13
埼玉	2	3	4	茨城県立	1	0	0	日本橋学館		1	東京電機	9	7	京都光華女子		1	群馬高等看護衛生		1
千葉	5	3	10	埼玉県立	0	1	2	青山学院	13	7	東京農業	2	2	京都産業	1	1	名古屋ビューティアート		1
お茶の水	1	1	2	首都大学東京	1			亜細亜		1	東京薬科	10	8	京都女子	1	1	京都栄業医療専門		1
電気通信	2	4	3	東京都立		3	3	大妻女子	1	4	東京理科	37	16	京都橘女子	1	2	埼玉赤十字看護		1
東京	2	2	2	東京都立科学		1	0	桜美林	3	3	東邦	12	6	同志社	11	4	湘央医学技術専門		1
東京外国語	2	3	3	東京都立保険		0	1	学習院	3	8	東洋	15	10	同志社女子	2	1	東放学園専門		1
東京海洋	0	2	0	横浜市立	4	1	2	学習院女子	3	1	二松学舎	0	3	立命館	22	8	東京モード学園		1
東京学芸	3	4	3	都留文科	3	2	5	北里	9	8	日本	35	22	龍谷	2	3	長野カレッジオブキャリア		1
東京工業	1	0	2	山梨県立看護	0	1	0	共立女子	3	0	日本社会事業		1	大阪芸術		1	文化学院芸術工科		1
東京芸術	1	1	0	高崎経済	8	0	5	共立薬科	1	3	日本獣医畜産	4	1	大阪薬科	0	1	新潟医療専門		1
東京農工	3	1	1	長野県看護	0	1	2	杏林	0	2	日本女子	5	5	関西	3	1	長野県須坂看護専門		1
横浜国立	5	4	5	静岡県立	0	1	0	慶應義塾	10	8	法政	19	20	関西学院	0	0	国立看護大		1
新潟	13	10	12	石川県立	1	0	0	工学院	12	3	星薬科	2	4	関西外国語	0	2	東京医科大看護		1
上越教育	1	3	0	金沢美術工芸	0	0	1	國學院	6	13	武蔵	6	13	近畿	3	1	杏林大付属看護		2
富山	5	7	0	愛知県立美術	1	0	0	国際基督教	4	1	武蔵工業	12	9	奈良		1	国立長野病院看護		2
富山医科薬科	2	1	1	岐阜薬科	2	1	1	国士館	2	5	武蔵野	2	2	岡山理科		1	長野赤十字看護		1
金沢	11	4	4	福井県立	2	0	0	駒澤	20	4	武蔵野音楽	1	1	福岡		1	諏訪赤十字看護		1
山梨	2	3	1	大阪府立	0	1	0	実践女子		1	武蔵野美術	2	4	私立計	693	519	早稲田美容専門		1
信州	57	29	27	北九州市立	1	0	0	芝浦工業	17	13	明治	37	28	千葉県立衛生短	1	1	ハリウッド美容		1
福井	2	0	1	公立計	28	16	22	昭和	0	3	明治学院	9	9	埼玉県立短大	1	1	エコールキュリエール		1
静岡	5	1	3	北海道医療		1		昭和女子	4	1	明治薬科	7	7	神奈川県立外短大		2	東京工学院専門		1
名古屋	2	2	2	北海道薬科	0	1		昭和薬科	5	6	明星		1	横浜市立看護短大		1	北里大保健衛生		2
名古屋工業	0	1	0	酪農学園		1		上智	12	14	立教	5	14	川崎市立看護短大		1	長野理美容専門		1
愛知教育	1	0	1	東北薬科	3	2		女子栄養	0	1	早稲田	29	31	山梨県看護大短大		1	上田情報ビジネス		1
岐阜	1	0	0	宮城学院女子		1		成蹊	4	4	麻布	0	3	長野県短大	3	4	日本工学院		1
三重	3	2	1	国際医療福祉	9	6		成城	4	5	神奈川	7	4	長野県工科短	1	1	日本映画俳優		1
滋賀	0	2	1	自治医科	0	1		聖心女子	1	1	神奈川工科	2	5	国公立短大計	7	9	東洋コミュニケーション		1
京都	4	0	1	帝京平成	6	1		専修	16	6	関東学院	1	3	青山学院女子	2	2	専門学校他計		17
京都工芸繊維	0	0	2	高崎商科		1		創価		1	新潟医療福祉	1	3	東京家政大短大	2	2	延世大学韓国語学堂		1
大阪	3	0	0	跡見学園女子		1		高千穂		1	新潟薬科	4	4	国際学院埼玉短大		1	TAFE International Western		
大阪外語	1	0	0	埼玉医科	0	1		拓殖	1	3	金沢学院	1	3	桜美林大短大部		1	Australia Tourism		1

凱歌

夕陽千曲の水の面に
映えたる血潮輝きて
躍るや絶えぬ歓びの
流れにひびく陣太の音
聞けや胸血のたぎる聲
誉れのかぶと我得たり



黙示の色に溢れたる
浅間の峰の空高く
五色の旗のたなびきて
夕陽が四方を覆ふとき
見ずや誉れのこの旗を
永く我が手に保たなむ

勝てば「凱歌」、負ければ「賛歌」と、試合後に
凱歌は決まっていた。
どちらも我らの青春の情熱を見事なことばでう
たいあげていた。なつかしく思い出す人も多いだ
ろう。

ところで、凱歌の作曲者には諸説があり、未だ
確定をみていない。凱歌の作曲者は誰なのか？
56期成田さんが興味深く調べあげた。その結果が
この度発行された「松尾倶楽部」の35周年記念誌
に載った。多くの同窓生の関心に応え得るものな
のでここに転載することにしました。(編集部)



特別寄稿

凱歌考

— 凱歌を巡る人々 —

56期 成田 邦夫

〈凱歌と私との出会い〉

母校と聞くと、直ぐ上田松尾と反応される同窓生は、
かなりおられると思いますが、私もその一人です。昭
和23年から始まったこの校名も我々56期がこの呼称で
の最終卒業生(昭和33年3月)でした。この校名と共に
思い出すが、いろんな愛唱歌です。校歌にはじまっ
て、凱歌、寮歌、応援歌、知る人ぞ知る戯れ唄(うた)等、
色々ありますが、中でも校歌の次に愛されているのが、
《夕陽千曲の水の面に…》と直ぐ口に出る「凱歌」で
はないでしょうか。尤も、私は当時、野球部にいた関
係から自分ではあまり歌う機会がなく、試合後、観客
席の応援の諸兄、諸姉(今とは異なり当時は稀少価値
がありました！?)達が唄われるのを、同期の、神津
進、山崎紀典、中村義介、笹沢政道、そして今は亡き
同町内の竹馬の友、手塚俊之(平成6年54歳で神戸に
て没)等、球友達(昭和32年夏第一回甲子園出場メン
バー)と一緒に聞いていた方が多かったわけですが、
今にして思えば私と凱歌の関係はこれだけではなかつ
たようです。

〈凱歌の作詞者と作曲者〉

母校の歌集にはこの凱歌の作詞者として、吉村武生
氏(21期・昭和26年没)のお名前がありますが、作曲
者名がありません。これについては、身内の事で恐縮
ですが、私の岳父(松平忠久・21期・平成3年没)が、
この凱歌は「自分が作曲した」と、義弟(和久・忠久長
男)に、ふと漏らしたと聞いております。それは、上
田高校が昭和62年夏に30年振り2回目の甲子園出場を

果たした時、義弟も私と共に東京駅丸の内口から徹夜バスで甲子園まで応援に同行しましたが、その時に配布された上田高校応援歌集を、彼が後日見せた時だったそうです。

外語大の中国語出身であった義父は、東京音楽学校（現東京芸大）音楽科にも受かりましたが、周囲から「音楽では食えないからやめろ」と云われ諦めた由。上中時代、上田の映画館で無声映画のピアノ伴奏をしたり、家では時々古いピアノでトロイメライ等を弾いたりした事もあったそうです。晩年、一寸酒が入ると、京劇の唄を北京語で、外見に似合わない、甲高い声で歌っていたこと私にも思い出されます。本人が外交官として在中国時、当時の京劇の花形、梅蘭芳に直接教わったと云っておりました。



旧制上田中学時代の
松平忠久

ご参考までに、忠久の父、志津馬は明治中期に上田尋常高等小学校（昔の南小学校で現在は第2中学校のある場所）の音楽教師をしていて、通称《上田ジータ》（上田音楽隊・今で言う吹奏楽団）の創設に関わったといわれております。義父は案外（？）、志津馬から音楽的才能を受け継いでいたらしく、上中、大学時代に書き綴った譜面類も残っています。なお、志津馬については、北條彰一氏（51期・長野大学講師）が『上田音楽事始』と題して、明治大正期の在上田の音楽愛好家達が日本洋楽の発展に寄与した一人として経緯を目下鋭意執筆中です。（閑話休題）

又、上田高校歌集にある、《おぼろに明けし、春たけて》という寮歌風の歌には、「作詞者 松平忠久、作曲者 吉村武生」とあります。これについては、「作詞者と作曲者が反対だ」と息子の和久に言っていたそうです。言ってみれば、この二人は、今で言う《コンビ》を組んで、作詞作曲活動をしていたものと思われれます。この辺の状況を義母富美（私とは又従姉弟の關係）や、上中の後輩でもあり比較的年齢の近かった、義父の弟や義母の兄弟などにも聞いてみましたが、なにも得られませんでした。そこで何とか吉村氏のご遺族から得られればと思いい、同窓会名簿に残る長野市長沼の住所をたよりに、同窓会長野支部幹事長の、吾妻和臣さん（61期）に現地まで尋ねて頂きましたが、市町村合併のせいもあり、残念ながら消息は一切不明との事でした。

《凱歌誕生の契機》

ところが偶々、私の叔父、中村善衛（36期・上田市舞田在）が持っていた、『上田高等学校歌の徒然草』なる資料を見せてもらったところ、そこに遠藤恭介氏（20期・母校校医・平成14年没）談としてこの凱歌は、大正十年当時、上中陸上部が全国的に活躍したことがあり、その時に、拓殖大学の寮歌に合わせて、吉村氏が急遽作詞したもので、その後良く歌われたが、拓大から、『無断使用は怪しからん』と抗議され、応援団長（何方か不明）が『詫び』を入れ、『ケリ』がついた云々、との記述がありました。

これを知って実の所、私も一寸がっかりしましたが、念のため、拓殖大の学生部から、大学歌集とテープを取り寄せ、『夕陽千曲の』に相当する曲があるか調べたところ、それらしきメロディーの曲は、聞きあたりませんでした。同学生部に確かめたところ戦前からの愛唱歌は、殆どこれに網羅されているとの事なので、該当曲がないという事になれば、上述の一悶着の後、義父が新たに作曲したと言う、『傍証の一つ』にはなるのかなとは思いま

すが、いずれにせよ、二人の当事者が、《幽明境を異にされている》ことでもあり、確証は掴めません。（上述の中村善衛叔父によると、塩田、室賀、青木等10ヶ村有志の集まりである、《川西同志会》の会歌も松平忠久作曲との事です。）

家人が義父に、上述の《臚にあげし》の作詞、作曲者の訂正をしたら？ と聞いたところ、『皆に愛されて唄われているのだから、今更そんな必要はない』とも云っていた由。この凱歌も、正にその伝で、いわゆる《詠み人知らず》として、未永く愛唱されれば、吉村氏も、作曲者も、「もって瞑すべし」、ということでしょうか。

《凱歌歌碑建立―凱歌は皆に愛されていた》

と、こんな形でこの駄文を閉じようと思っております。矢先、偶々、村田 寛氏（51期）とお会いする機会あり、念のためこの事をお話してみました。というのは、同氏は義父が衆議院議員をしていた当時、秘書をされていた経緯あり且つ先輩後輩の間柄でもあり、もしや家人の知らない義父の一面をご存知かなとも思ったからです。同氏によると、凱歌と義父との関わりについては聞いていないが、吉村氏の遺族とは知り合いです。51期の有志が母校の中庭に立てたが、その除幕式に、その吉村武生氏の長女的美弥子さんとご夫君の渡辺卓郎氏（40期・弁護士）のお二人が列席された事を知らされ、大変驚いた次第です。

そこで、早速、関東同窓会名簿で渡辺卓郎氏の住所をしらべ、突然で失礼とは思いつつもお電話差し上げました。電話に出られたのは渡辺氏で、私の意図を説明方々、吉村氏と義父との凱歌を巡っての経緯につきお尋ねしましたが、美弥子さんは、大分以前から健康を害され先ごろ退院されたものの、未だ病状芳しくなく、お宅で療養中の由。そして、渡辺氏より、『残念

ながら本人もその辺の詳しいことは判らないでしょう、ですが、是非このエピソードは纏めて欲しい」と激励のお言葉を頂きました。

それにしても、51期の先輩達は、なんと愛校心に富んでおられることよ！と感心。村田氏に歌碑建立の謂れについてお聞きしたところ、田中 明氏、中嶋 宏氏ら有志が当時、卒業35周年記念として歌碑建立を思い立ち皆に呼びかけ、20万円ものカンパ資金を集められた由。そして凱歌を選んだ理由については、「皆がこの歌が大好きだったから」と単純且つ明快なるご返事でした。ピーバ、51期！です。なお、歌碑建立については、上田高校100年史・51期に紹介されています。迂闊でした！大変失礼しました。この歌碑は周囲を校舎に囲まれた中庭の一隅の木陰にあります。この秋初めて対面しました。この歌碑が立てられて、僅か2ヶ月ほど後に上田高校野球部が2回目の甲子園出場の快挙を成し遂げましたが、これら先輩の熱意に



上田高校中庭に建てられた歌碑

拠ること大であったのではないのでしょうか。

《作曲を巡るもう一つのエピソード》

ところで、この歌碑建立にちなんで、美弥子さんが、お父上を偲んで、纏められた小冊子『凱歌』を村田氏から見せて頂きました。そこには、渡辺卓郎氏（同氏も母校応援部におられた由）の筆になる思

い出として、この凱歌誕生について、竹内敬太郎氏（29期・母校国語教諭・平成10年没）談として、作詞は吉村氏だが、曲は、なんと！なんと！『東京農大の応援歌を急遽借りた』という件があり、またまたびっくり。そしてこの契機となった上中陸上部の活躍とは、田村 民治氏（20期・上田市海野町・現消息不明）が全国中学校陸上競技会で、400メートル（或いは800）に優勝され、全国的な評判になり、田村選手は今で言うアイドル的な存在となり、少年倶楽部の表紙にまでなったということでした。（ちなみに、義父忠久は、陸上部にも属し、短距離が得意だった由。）こうなると、行ける所まで行って見ようと、東京農大からも、歌集CDを取り寄せ、興味津々、聞いてみたところ、矢張りそれらしき曲はなく、正直、ほっと一安心（？）。でも、義母富美によると、遠藤氏といい、竹内氏といい、義父とは親しい間柄にあった由で、合点がいかない部分もありますが、明治生まれの人達は、細かい事はあまり気にしなかったのかもしれない。

《二人とも自分については寡黙だった？》

私も仕事の関係から、海外生活や単身赴任生活が長く、元気な時の義父と落ち着いて話が出る機会に余り恵まれませんでしたが、自分のことは、『シャイ』とも言えるほど、話さなかつた義父の性格を思えば、こんなことも在り得たのかなと思います。そういえば後に記すように、激動の日中時代を外交官として生きた義父に、「生き字引なのだから、その辺りをメモワールに纏めたらどうですか」と時々促したことがあります。いつも「ウン、その内に……」とだけ云っていて、結局それきりになつてしまったのは、今となつては、返す返すも残念に思います。人間関係においては、家人に対してさえも《去る者は追わず、来る者は拒まず》を貫き通した義父でもありました。

吉村氏とは言えば、美弥子さんが上述の小冊子に、

『生前父は、この歌（凱歌）について私どもに語った事はございません。男の子がいなかったからかも知れませんが、父の口から歌われた事はなかったのをごさいます。』と記しておられます。上中開校以来の秀才といわれ、4年から松本高校（寮歌『ああ青春』作詞）に進み、東京帝大卒業、日銀に入り、周囲からは将来の総裁と囁望されつつも、昭和19年頃から、脳腫瘍を発病され、失明されるなど厳しい闘病生活の後、昭和26年9月、47歳にて、上田市郊外塩尻村にて夭折された由。

同氏は、昭和16、19年には北京日銀に駐在をされており、義父が外交官として、昭和11年から21年の間、漢口、広東（次女典子出生地・小生妻）、南京、上海、北京等に勤務していたことから、この二人は異郷での再会の機会があつた筈ともいえます。尤も風雲急を告げつつあつた当時の情勢下、例えその意思があつたと



旧制上田中学4年の吉村武生氏

しても不可能に近かつたでしょう。また、吉村氏がお亡くなりになるまで、塩尻村で闘病生活をされたのは、昭和20年から26年9月の間でしたが、義父も昭和24年に外務省を辞し、民間会社の経営に関るようになり、上田地方に行き来する機会もでき、しかも26年からは林虎雄知事の下で副知事を務めたことから、この時代の二人は少なくとも地理的には接近した生活をしてたことになりそうです。



〈凱歌よ、永遠なれ〉

最後の頼みの綱(?)として、上田高校の現音楽担当教諭、長谷川和生氏(65期)に凱歌に関する古い関係書類などの有無をお尋ねしましたが、やはりその類のものは無いとのことでした。長谷川先生から送って頂いた、凱歌の楽譜で、忠久長女玲子(武蔵野音楽大ピアノ科出身)に弾いてもらったところ、私が覚えているものとは一部異なる節回しがありました。

という訳で、様々な状況証拠から、義父が作曲したという可能性はそこそこ感じられ、身内の感情からもそうあって欲しいとは思いますが、直接証拠も見当たらず、当事者である二人に聞くすべもない今となつては、凱歌《夕陽千曲の水の面に…》の作曲者をめぐる《ミステリー》は依然として存在します。ただ、此処に登場された人達だけでなく、《青春のひと時》をこの凱歌と共有した、多くの人々の、様々な人生に関り、愛唱されていることが事実である以上、義父の言つたとおり、《どうでも良い事》なんだと私にも思えてきました。そして、この歌に「永遠の命」がこもっている、と云うことが実感できる様になりました。

さて、皆様からの色々な情報と私が暇を見て調べた事を、時系列的に綴ってきたところ、こんなに冗長になってしまいました。この文を締めるにあたり、様々な情報を頂戴致しました同窓生諸氏に厚く御礼を申し上げますと共に、渡辺卓郎、美弥子ご夫妻のご健勝をお祈りしつつ筆をおきます。

◇ 二人の人となりをおぼせる寸言 ◇

〈吉村武生氏の大学時代のノートの

落書きの中の一頁〉

「ここよりうたふべきうた世になければ

われ自らにつくらむと思ふ

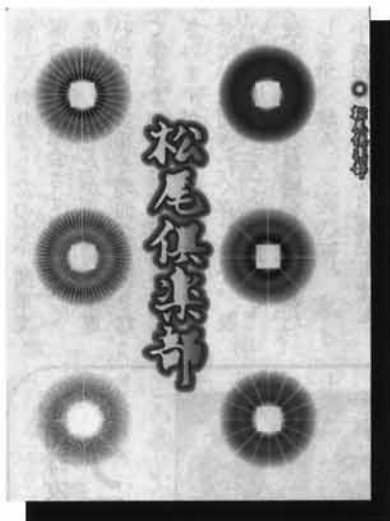
〈松平忠久の家人への口癖〉

人も物事も一面からだけ見てはいけない。良くも悪くも、必ず表と裏があるものだ

追記・昭和59年(1984年)、上田高校同窓会が母校創立80周年記念に発行した「長野県上田高等学校史―中学前編」462頁には「この凱歌は、吉村武生が作詞、同期の松平忠久が作曲した」、同後編の48頁には、「松平忠久作曲とも、拓殖大学寮歌の曲ともいいう云々との記述があります。以上は文中にもある、北条彰一氏よりご連絡頂きましたので添書させて頂きます。

松尾倶楽部

松尾倶楽部とは、松尾倶楽部は同窓経済人の勉強会「上田経済問題懇談会」として48期を中心にスタートしましたが、現在は「松尾倶楽部」と名称変更し、経済問題だけでなく幅広い興味に相應する同窓生全体の文化的組織になっています。35年の歴史を持ち、識者や有名人を招いての講演会や見学会などは、116回を数えます。その講師群は河野洋平氏、田中康夫氏らの政治家や窪島誠一郎氏、佐渡が嶽親方などの文化人や各界で活躍の同窓生で多士済々。会費は参加したいイベントへの参加費(夕食つき5千円)のみ。次回講演会は6月6日、前東京弁護士会長、日本弁護士連合会副会長岩井重一氏(62期)です。同窓会と松尾倶楽部は車の両輪です。会員募集中、どうぞご入会を。またゲストとしての自由参加もお待ちしております。



35周年記念誌の希望者は下記へどうぞ。講演記録や、会員の寄稿満載。送料込み2500円

松尾倶楽部 〒101-0041 千代田区神田須田町2-6-2 明光通商(株)内
電話 03-3258-1943 FAX 03-3258-1920



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater

“発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく”

- Mr. Children
- Sugar
- BUMP OF CHICKEN
- ゆず
- ケツメイシ
- RAG FAIR
- ジャパハリネット
- melody.

株式会社 トイズファクトリー 代表取締役 井出 孝光

会員 短信

(氏名の下の数字は卒業期です)

岩下美千穂(29) 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび住所変更(市内貫井南町)いたしました。

(岩下様は29期、昭和5年の卒業で、お年は93歳とお見受けいたします。ご自愛のほどをお祈り申し上げます。)

中台秀松(32) 先日はわざわざ同窓会報有難うございました。懐かしく拝見させてもらいました。小生も90歳となりますが元気です。中村禮三君と同級です。往時の上中時代を懐かしく思い出されてなりません。七月の水会館の集いは是非出席させていただきます。小生昭和8年卒業ですが何人ぐらい健在でおりますか知りたいと思います。小生上田は鷹匠町に住んでおりました。太郎山を想いだして居ります。菅平のスキーで草津へ抜け出たのもなつかしい。

(年賀状つきの短信有難うございまして。同期の中村禮三さんも大変お元気です。なお、現在関東同窓会名簿にある32期の皆さんは、中台さん、中村さんを含め14名おられます。来る7月2日の総会にご出席頂ける由、心よりお待ち申し上げます。)

風見和泉(37) 恐縮ながら小生85歳を迎え身体なにかと不自由しています。年会費免除方よろしくお願いいたします。幹部の皆様のご多幸を祈り挙げます。(お便り有難うございます。80歳以上の方は会費は免除になっております。今後ともお元気で会報をお楽しみください。)

岡 清助(37) 37期会平成16年10月31日上野精養軒にて開催。出席者6名、内田重喜、清水志郎、原田安雄、横田地弘、宮沢芳雄、岡 清助。欠席者新井邦夫、小出改造、阿野勇生、小山敏雄、古畑徳宝、風見和泉以上6名。(待ち待ちし 会すぐ終わり そぞろ寒)

(毎回の投稿有難うございまして。(待ち待ちし:)、誰しもが感じる気持ちを見事に表現されていると思います。)

生島信夫(41) 会報拝読。講座、随想、短信等、内容充実、人間力共感への道、ロマン、チャレンジを高め感慨を共有、パランス取れ、色彩感に溢れ、隔々まで心の温かさに、随所に諸氏の母校への矜持が披瀝され打たれます。今、移り行く世を直視し自己啓発を試みています。編集に携われた皆様方のご苦勞が深く心にしみ、感謝いたします。

藤城敏幸(50) 会の運営、苦勞様です。何年間前に関東同窓会に「加入・非加入」は個人の自由という議論がありました。その折非加入を表明した方が数多くありました。小生自身も多くの学校(大学及び勤務大学)に関

係しておりましたので、関東支部(原文)を退会させて頂くべく連絡致しましたが事務局の手違いからか会報その他が送付されて参りましたが、大変我儘ではございますが、今回改めて退会させていただきますたく存じます。長い間ありがとうございました。会の益々のご発展をお祈りいたします。草々

小泉悦也(50) 先日電話しました小泉です。いつも会報をいただきながら会費も納入せず申し訳ありませんでした。電話でお聞きしました期間の会費とお詫びに少々の寄付をいたします。これでご勘弁下さい。昨春より郷里の実家に帰りました。年金で細々と百姓をやりながら病妻と生きて行きたいと思っています。関東同窓会の会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。(藤城様、小泉様、長い間ありがとうございました。)

甲田昭彦(50) 今回の会報で島田三郎様(27期)が亡くなられたこと知りました。父甲田光人(27期-S.62. 10. 12没)の親友でした。(甲田様会費有難うございまして。古い知人の消息を伝えるのも会報の持つ大切な機能の一つと思ひ掲載させて頂きました。)

山田直衛(51) 名前と姓が変更しましたのでよろしく願います。(旧姓・清水さん)

深町勝男(54) 小生平成17年4月から(相模原市淵野辺)に転居いたしました。今後ともよろしくお願います。

赤尾信吉(56) 毎号楽しく拝読しています。小生も今年定年退官

上田球友会総会報告―幹事 小林清隆(71期) プロ球界裏事情も披露



上田球友会は関東地区在住の野球部OBとこれを後援する賛助会員で構成されており、会員同士の懇親や母校野球部への後援を中心に積極活動を続けております。ちなみに会長、副会長は初の甲子園出場メンバーである、神津進氏(56期)、成田邦夫氏(同)です。年に一度の集いである恒例の総会が1月16日上野東天紅で開催され、母校から内田部長、津金監督をお迎えし総勢26名が参加し盛会を持ちました。好評の講演ではスポーツ科学センターの船渡和男氏(71期)がアテネオリンピック日本選手団に随行された際のエピソードや昨今のスポーツ医学の諸事情など、大変興味ある講話をして頂きました。また昨年のプロ野球のストライキや改革の動き、日本シリーズで40分に及んだ審判の判定問題等を倉島今朝徳氏(58期)・ヤクルト球団専務、丸山博氏(49期)・プロ野球機構・野球規則委員から披露して頂き会のムードは大いに盛り上がりました。我が同窓生の方々がこうして日本プロ野球界の一翼を担っていることを改めて誇りに思った次第です。

我が母校も、57年、87年と過去2度甲子園出場を果たし、進学校としての実績を誇っておりますが、そろそろこの辺で3度目の甲子園出場を果たし文武両道の実現を期待する声は同窓生、市民の間にも漲っております。学校関係者の奮起をお願いいたします。



リレー随想 辿り来た道

68期 碓田 茂

古城の門を出でて35年にもなります。「卒業して」と言わないのは、3年の夏に退学してしまったからです。それに在学中もほとんど気まぐれな出席しかせず、本来「母校」と言わせていただくのも憚るところです。怠惰でそのくせ尊大、遵法性なし。大変に問題のある学生で、思えば担任の吉越和美先生や部活の中島恒夫先生はじめ多くの先生方に迷惑をかけ続けた。

今にして思えば、なぜそんなにも自制できなかったのか不思議なくらいですが、少年期から青年期にかけての怪しいエネルギーがそうさせたのかもしれませんが。また、同期や先輩、後輩がひたすら文武両道に打ち込む姿に、到底かなわないと卑下する気持ちが、余計に制御の躰をはずさせたのかと思います。その敗北感をぬぐうのに十数年を必要としました。

信州、横浜、京都、信州、京都、東京、横浜とチートイツ東単騎待ちのような人生で、回復への道筋を与えてくれたのは、「母校」の友人たちだった。貧しく飢えてしまいそうな時に吉田山近くの学校寮に長逗留をさせてくれた竹内俊隆君、夜逃げのような引越しを手

伝ってくれた鷹野明君、尾台孝夫君にはとにかくいろいろフル・オプションの迷惑をかけた。

小林春樹君には人生に必要ないろいろを教えてもらった。法律的な考え方、「内観」や「はたらきあい」という作法や社会行動。それら友人がしてくれ、教えてくれたすべてが、自分で業を起してからの基本方針となり、人生観となって行った。だから、君たちとは業種もすっかり違う仕事をし、ご無沙汰続きでも、いつも一緒に働いている様な気がしています。

「人生は 冬ではなく 春で終わりたい」こんなテーマの介護住宅を運営し、横浜、京都、信州に開業をしています。就いた仕事が「介護」とは、母校での私の素行を知る人たちには到底信じられないような業種でしょう。しかし、自分でもこんなに打ち込めるものがあつたのかと、疑うくらいに24時間365日をあわただしく過ごしています。

23年もの間、夫婦の関係を継続してきた女房にしても呆れているのですが、やがては自分達のためになるのだからと言い聞かせています。老後も少し気になり、健康についてうるさく言われる歳になりました。この秋には駒沢に開業が果たせそうで、「そうなればチートイツ東単騎で上がれるから」と言ってもマージャンを知らない女房には意味不明な、しかし私の半生なのです。

62期同期会のお知らせ

62期は上田在住同期との合同同期ゴルフ会を開催いたします。

1.同期会

- ・ 6月4日(土) 17時30分～
- ・ 上山田温泉 ホテル円山荘
- ・ 会費 宿泊15千円 日帰り10千円

2.ゴルフ会

- ・ 6月4日(土) 集合8時50分
- ・ インスタート 9時21分 5組
- ・ 浅間高原カントリークラブ

3.問い合わせ先

柄澤 堯さん 0263-26-0432
又は 田島善光(記) 0476-97-4647

65期同期会のお知らせ

65期の皆さん7月2日の同窓会の後、恒例の同期会を開催します。今年で5回目となります。

改めて連絡しますので、総会とあわせ、予定しておいて下さい。 幹事 上原 昇 〒330-0835

さいたま市大宮区北袋町1-190-2 A-208
電話 048(641)7749(自宅)

となり老化に抵抗して
います。尚記念に基金
一口納入いたします。
会報編集大変かと思
いますが頑張ってください
い。益々の発展をお
祈り申し上げます。
(基金と年会費確かに
納入いただきました。
ご協力深謝いたしま
す。会報今後とも愛
顧下さい。)
大塚明彦(56) 住所変
更しましたのでよろし
く。
平野武明(56) 会報72号
送付有難うございま
した。編集に工夫があ
り。編集に工夫があり
楽しく面白く読ませ
ていただきました。執行
部のご努力に頭が下が
ります。小生昨年50ラ
ウンドのゴルフをブレ

イしました。(英国での3ラウ
ンド、上田高校56期マツゴロ
ー・コンペ2ラウンド含む今
年も50ラウンド目標に頑張
つもりです。(お便り有難
うございました。ゴルフはエイ
ジ・シューターを目指して
ください。オット未だ未だ早
い! *註・56期会は「マツゴ
ロー」の謂れは「マツラゴジ
ユウロク」です。)
星野和俊(58) 3年間のブラ
ジル国サンパウロ市での勤務
を終え3月帰国いたしました。
留守中大変失礼してお
りました。年会費5年分1万円、
基金一口別途振り込ませて
いただきます。(海外勤務ご苦
勞様でした。会費・基金早速の
ご協力感謝いたします。)
清水 理(66) 10月1日より
又本社勤務になり東京へ通
っています。会費滞納いたして

おり申し訳ございませんで
した。義弟73期も現在帰国して
東京におりますので、7月
には2人揃って出席したいと
なえています。(7月2日総会
お待ちしております。)
碓田 茂(68) 日頃の同窓会
活動ご苦勞様です。同窓の
人々の活躍を見るにつけ又奮
起して頑張ることができま
す。別便にて些少ですが寄付さ
せて頂きました。(いつもご協力
感謝いたします。)
宮崎直之(68) 住所変更しま
した。(奥様の件も了解しま
した。)
今井一郎(72) 昨年引越しま
しました。
若林計良(83) 妻、敦子(87期)
二人の住所変更よろしくお願
いいたします。了解しまし
た。
小池拓成(89) 住所変更をお

◎53期、50周年記念に桜植樹
今年卒業50周年を迎えた53期
の仲間が、記念の桜を上田城址公
園周辺に植樹、6月22日に披露
の同期会を開催した。植えた場所
は上田城の崖下に当たる天神駐車
場から城に向かう「けやき並木」
の手前付近で、10年の成木9本
全日制8組と定時制1組の各組が
1本分ずつの金額を寄付し、園芸
業者に依頼したという。
上田城址公園の桜はいまや「上田
城千本桜」として全国ブランドに
なり、今年には観光バスが約800
台もやって来た(市観光課調べ)。
しかし2年前の調査では桜の実数
は817本で、その後各団体など
が周辺の植樹を続け、現在は84
0本台まで増えてきたという。し
かし公園内への植樹は上田市文化
財保護審議会の規制が厳しく、民
間の善意がなかなか届かない状
況がある。53期生で上田市観光
コンベンション協会専務理事の吉村
晴夫さんは「調整に時間がかかる
が、今後の卒業期も記念植樹を続
けて欲しい」と期待している。

願います。
橋本清香(95) 姉妹共々いつもお世
話になっております。おかげさま
で年末に1級建築士の試験に無事
合格でき、学校も終了いたしまし
た。今年の総会には是非出席した
いと思っております。今後ともよ
ろしくお願い申し上げます。まだ
まだ寒い日が続いておりますので
くれぐれもご自愛くださいませよ
うお祈りいたします。(1級建築士
合格おめでとうございます。母上
からもお便りいただきました。こ



れからも社会人として頑張ってください。*橋本清香さんのお姉様は92期の真由美さんです。昨春のニカラグア・マコイヤ楽団を日本に紹介した方です。現在はコスタリカの日本大使館で活躍中です*
白鳥智美(97) 昨年7月に入籍し(露久保)と姓が変わりました。それに伴い住所、電話番号も変わりましたのでよろしく願います。
 ◎結婚おめでとうございます。旧姓も新姓も素敵な名前ですね。お幸せお祈りします。
鈴木有子(99) (母上より先)ころは同窓会報をお送りくださった有り難うございました。娘は今東京の大学に在学中で上田の自宅に送っていたのですが(期)が間違っていることに気づき訂正をお願いしたく本人に代わり私母親ですが、ペンをとりました。90期と書かれています。お知らせ頂き有難うございました。早速訂正いたしました。なお、東京での住所は学生のうちは変更される方が多いので、当面はご実家にお送りしますので、お手数でもご本人に転送お願いいたします。)

◎卒業73年目の31期同期会

昭和7年(1932年)卒の31期生が、卒業73年目の同期会を4月14日、港区新橋の中国料理店「新橋亭」で開催。土屋学、宮坂三吉、澤田光雄、石川潔の4氏が参加、旧交を温めた。土屋さんによると、初期のクラス会では矢島五郎氏(故人)らが熱心に首頭を取り上田高女(現上田染谷丘)のOGと合コンするなど氣勢を上げた。矢島氏が亡くなったあとは宮坂氏が肝煎り役になり、最近では上田から参加の小山一平氏(元参議院副議長)を含め5人が常連だという。90代になる関東在住の同期生は10数人で、体調が十分でない方も少なくないが、同期会は2人になるまで続けよう、健康を維持しようと励ましあっている。

◎楽しかった54期新年会

54期の今年の新年会は2月16日ハートイン乃木坂で開かれ43人が集った。新年会では毎年、誰かに講演をしてもらっているが、今年は東京天文台名誉教授の宮本昌典君の「銀河系の暗黒物質」。難しい内容ながら何かわかった気がした。(54期会三人組)

訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

鎌原義則(29) 03.7.4 (ご家族より：父義則92歳自宅にて他界いたしました。長い間お世話になりました。皆様のご健勝を祈念いたします。)
金井忠義(34) 04.1.28 (奥様より：故金井忠義平成16年1月28日死亡いたしました。生前より何かとお世話様になりました。御配慮厚くお礼申し上げます。遅れ馳せながらお知らせ致します。)
早川行世(44-5) 03.11.23 (奥様より：主人早川行世は平成15年11月23日なくなりました。香典も頂いております。よろしく願います。)
山岸光臣(49) 04.9.25 (ご家族より：前略ごめん下さい。平成16年9月25日病没いたしました。長い間ご厚誼に与り感謝申し上げます。必要な手続きをお取りくださいますようお願い申し上げます。(同期の花岡潔様より)もご連絡頂きました。)

関礼次郎(49) 04.9.10 (ご子息より電話頂きました。)
戸部登喜一(50) 05.2.22 (奥様より電話頂きました。)
高島通敏(50) 04.7 (ご家族から：皆様のご活躍を祈っております。高島は昨年7月に逝去いたしました。永年のご厚誼感謝申し上げます。)
山口義雄(51) 99.4.26 (ご子息より：おそれ入ります。父は平成11年4月26日に他界いたしました。心不全でした。お知らせまで。今まで有難うございました。)
柴田哲男(58) 05.2.10 (同期の金子親碩氏より連絡頂きました。)
宮川義人(66) 01.8.22 (奥様より：主人は二年余りの闘病の末なくなりました。生前はハンドボール部で活躍したことなど、楽しく語っておりました。生前のご厚情に厚くお礼申し上げます。)

◆運営基金拠出者 氏名

(平成16年4月1日～平成17年3月31日の拠出者 (単位万円)。合計24人 29万円。)

33 石井正六 1	42 山邊賢四郎 2	51 吉沢深二 1	54 深井克彦 1	57 西尾紀一郎 1	64 荒井裕司 1
37 清水志郎 1	48 春原 寛 1	53 塩野入剛 2	56 赤尾信吉 1	58 桜井兼三 2	64 永井信介 1
38 由井虎史 2	51 滝沢英彦 1	54 菊島和宜 1	56 風間英信 1	58 星野和俊 1	72 田中 誠 1
41 金沢光男 1	51 森 基樹 1	54 田中嘉親 2	56 長崎哲夫 1	63 飯塚 聰 1	92 橋本真弓 1

◆寄付者 氏名

(平成16年4月1日～平成17年3月31日の寄付者。(単位千円) 合計39人 30万2千円。)

29 鎌原義則 10	43 小林朝衛 5	51 吉沢深二 10	58 山辺光一 3	66 竹内豊和 1	69 土屋文男 5
31 土屋 学 60	47 三浦嘉治 10	53 塩野入剛 10	59 荒井理夫 2	68 碓田 茂 20	69 栃原重文 5
33 中沢亮太 10	48 春原 寛 10	53 高木快雄 5	62 内堀隆久 1	69 遠藤和美 5	69 山村由紀子 10
34 松井正直 10	48 牧内清氏夫人 8	53 堀内忠久 3	62 宮入宗乗 5	69 倉沢 裕 5	92 橋本真弓 1
40 小林郷司 10	49 渡辺侃治 6	55 青木幹男 10	63 大塚和弘 3	69 小林正生 5	
40 吉池一郎 2	50 渡辺一雄 1	55 沢崎隆志 5	63 春原 穰 5	69 柴田幹雄 5	
41 清水栄一 3	51 滝沢英彦 9	56 立岩 環 4	66 清水通男 15	69 清水龍夫 5	



◆16年度年会費 納入者氏名

◆お問い合わせは、事務局・幹事長成田まで
(TEL、Fax 045-864-5835)

平成16年度年会費納入にご協力頂き厚くお礼申し上げます。なお、これをご覧頂く際下記にご留意下さい。

1.これはタイトルにもあるように、昨年度1年間に納めて頂いた635名の皆様のお名前です。

なお、会計年度は4月1日-3月31日です。従って平成17年3月までの納入は平成16年からカウントされます。

2.これとは別に、それ以前に納入された方全員の実績は上記の方を含め、会報に同封した個人別年会費納入表をご覧下さい。

3.なお、過去長年、会費未納の方については、遡ってお支払いいただく必要はございません。納めていただいた時点から、

カウントさせていただきます。よろしくご協力お願いいたします。なお、80歳以上の会員は、会費が免除されます。

40期 小林 博 17	田沢 徹 17 中村義夫 17	17 北川嘉一 17	17 須藤尚彦 27	18 柴田正人 18	22 市河富弘 22	20 波田野 彰 20	16 本田 健 16	20 尾上朝子 20	16 羽田啓吾 16	16 竹内 進 16	16 渡邊聡明 16
41期 生島信夫 20 金沢光男 28 川尻悦三 16 柳沢富雄 17	西村 勉 17 花村義男 22 馬場善一 16 牧内 操 26 三浦嘉治 26	17 工藤俊夫 19 久保長行 19 小泉悦也 25 甲田昭彦 16 奥水朝治 17 小林幸夫 16 新堀英行 18 武重秀雄 17 富永 馨 16 西野 明 17 沼田 淳 16 白田誠人 17 堀内健二 22	18 関 正利 18 高橋かち 16 高松健治 19 滝澤 格 17 塚田進一 19 土屋義子 17 三浦健一 16 宮島五郎 16 宮島廣人 21 柳沢 忠 19 山口直枝 25 滝澤睦夫 18 若林英鋭 18	18 井上順允 16 大矢憲明 17 菊島和宜 16 北原禎夫 17 沓掛文哉 16 倉島 彰 18 黒川次郎 16 小堀一雄 17 佐藤隆俊 20 関 正勝 21 滝沢 正 20 滝沢英統 18 滝澤睦夫 22 田中嘉親 27 田村 朗 20 土屋勝俊 19 土屋晃一 17 中島隆之 16 箱田信計 16 橋田ちせ 21 橋詰守人 17 馬場武彦 18 馬場雄二 19 深井克彦 20 深町勝男 16 藤村延吉 17 前田喜美子 18 柳澤 明 20 柳沢 曜 20 柳澤嘉計 18 山浦輝通 20 山崎茂幸 21	22 松尾 裕 16 松田光一 25 横山鉄一 20 和田 守 28 56期 赤尾信吉 26 飯高盛龍 22 上原清治 23 内海章緒 26 大久保治夫 20 大塚明彦 20 岡田建治 18 河合祥雄 17 甲田洋二 20 神津 進 25 小井節夫 21 小山莊司 20 笹澤道雄 24 佐野勝雄 16 田代和美 16 立岩 環 28 永井佳雄 20 長坂光登 18 成田邦夫 20 西島幹夫 22 羽鳥昭一 17 宮坂 卓 20 宮島孝芳 16 村山 剛 25 柳沢義孝 17 横島庄治 17 依田幸雄 17	20 前田由美子 20 松本初義 16 宮坂幸雄 17 望月英明 16 柳沢正一 16 山浦 武 21 山浦有二 20 山崎逸雄 20 山崎紀典 20 若林 篤 20 渡辺静雄 18 渡辺孝幸 16 渡辺浩通 20 58期 赤池三男 16 荒井公雄 17 大井秀三郎 25 岡野富男 16 金子 久 20 金子親顕 21 北村尚巳 16 小島佳雄 20 後藤史郎 20 桜井兼三 20 佐藤誠也 20 佐藤義男 19 杉浦皓亮 16 高橋福幸 16 滝澤一彦 19 滝沢信夫 17 仁平光義 20 星野和俊 20 宮原清明 17 森 邦夫 20 山辺光一 20 吉池正樹 20	16 川上知行 20 沓掛行徳 17 久保柳哉 20 黒澤博身 26 甲田 奏 16 小林公幸 16 小松有也 20 清水敏弘 21 清水幸雄 19 白井 透 20 滝澤章次 20 田中誠一 17 田中良樹 17 出嶋紀一郎 16 戸島忠彦 16 長崎 誠 17 平林善夫 18 福嶋 宣 31 古屋明子 20 森田英明 18 安間 襄 18 山浦成子 17 山本哲之 21 61期 有賀 度 16 荒井昇三 19 荒井裕司 20 石井則男 21 今井光信 16 尾和正曜 25 片瀬喜雄 20 久保田敬雄 16 神津英明 18 清水忠勝 17 高橋宗雄 16 滝澤 進 17 細董英久 17 堀内寿美 35 有賀勝雄 20 大日向勝利 29 柿崎靖夫 20 川村 東 17 小林宏行 19 吉田光明 17 62期 大町教子 20 秋田 勇 27 浅井保雄 20 朝沢 智 16 有賀幾夫 20 内堀隆久 18 大久保則男 20 西沢正浩 17 藤倉恵子 21 水郷達郎 17 水出清仁 25 森 嶺夫 20 山本元彦 16 山崎勝二 16	20 川上知行 20 久保柳哉 20 黒澤博身 26 甲田 奏 16 小林公幸 16 小松有也 20 清水敏弘 21 清水幸雄 19 白井 透 20 滝澤章次 20 田中誠一 17 田中良樹 17 出嶋紀一郎 16 戸島忠彦 16 長崎 誠 17 平林善夫 18 福嶋 宣 31 古屋明子 20 森田英明 18 安間 襄 18 山浦成子 17 山本哲之 21 61期 有賀 度 16 荒井昇三 19 荒井裕司 20 石井則男 21 今井光信 16 尾和正曜 25 片瀬喜雄 20 久保田敬雄 16 神津英明 18 清水忠勝 17 高橋宗雄 16 滝澤 進 17 細董英久 17 堀内寿美 35 有賀勝雄 20 大日向勝利 29 柿崎靖夫 20 川村 東 17 小林宏行 19 吉田光明 17 62期 大町教子 20 秋田 勇 27 浅井保雄 20 朝沢 智 16 有賀幾夫 20 内堀隆久 18 大久保則男 20 西沢正浩 17 藤倉恵子 21 水郷達郎 17 水出清仁 25 森 嶺夫 20 山本元彦 16 山崎勝二 16	16 花岡孝雄 16 藤田 格 16 丸山 茂 16 宮坂信章 21 室賀太郎 20 諸岡健児 16 川崎昌俊 21 依田欣五郎 24 63期 飯島正文 20 飯塚 聰 20 大塚和弘 16 川村恭司 17 北沢昌規 16 春原 穰 17 西沢信幸 17 平林善夫 18 藤川 昇 20 保坂証司 20 堀内敬文 17 宮入從誠 18 山浦成子 17 山浦善樹 21 若林春樹 17 64期 荒井昇三 19 荒井裕司 20 石井則男 21 一場美智子 20 内川榮久 16 小野沢常裕 20 北原巖男 22 佐島利行 16 清水安雄 16 春原和民 18 箱山博見 17 山崎一郎 21 65期 赤尾晴夫 20 岩崎和雄 18 岩崎ひとみ 18 上原 昇 17 内堀 信 20 大町教子 20 小林国雄 16 小山雅堂 21 清水俊文 16 滝沢政規 20 田中由紀子 17 田村栄治 20 片山隆行 17 黒岩 屹 18 齊藤實敏 25 荒井秀人 16 磯川周治 16 伊藤富士男 17 駒津敏洋 25 清水通男 26 林 幸平 16 高寺好一 21 滝沢一郎 16	16 竹内豊和 17 宮坂栄一 17 67期 岩崎 章 17 佐々木美千代 20 谷合裕子 17 土屋英子 16 堤 達 16 長谷川栄一 20 水島良子 17 村越 進 16 村松けさみ 16 山下一雄 20 68期 工藤敏夫 21 芝岡伸剛 30 土屋耕太郎 28 円谷和枝 20 中川彰雄 21 69期 上野国樹 17 逸藤和美 17 倉沢 裕 16 小林正生 16 柴田幹雄 16 下村文彦 16 関 和義 16 土屋文男 19 70期 安藤 哲 20 大橋志津江 22 渋谷 隼 16 丸山清光 19 緑川正博 20 矢澤清子 20 71期 国安法夫 16 小林清隆 16 高木 繁 19 72期 岩崎裕治 17 小宮山修邦 19 佐藤達成 16 関 博明 16 関 雄二 16 竹内功一 17 田中 誠 20 依田昌樹 20 73期 小平康人 16 須貝 博 17 橋爪宏達 16 藤木和彦 22 74期 猪田真紀子 17 荻原正典 20 小宮山伸之 17 林 幸平 16 竹内幸隆 18 羽田 平 21	20 渡邊聡明 16 76期 白田 滋 20 小林忠利 16 宮川 正 16 77期 草間和幸 20 78期 増田則夫 17 79期 荻原 貴 16 80期 長谷川 剛 21 81期 宮下 博 16 82期 荻野 健 20 古平明尚 20 田玉智明 17 常盤順子 16 長谷川達哉 17 堀たきよみ 17 83期 梅本真由美 16 大野聡子 20 山本 稔 20 佐藤士保子 20 84期 関 和義 16 山岸勝博 16 86期 住田陽子 17 87期 千代鶴深雪 16 89期 野澤郁子 24 92期 橋本真弓 17 堀川哲也 19 95期 橋本清香 19 99期 伴野里恵 16 丸山博史 16 100期 大木香奈 17 小池伸太郎 16 田中悠樹 17 谷川太一 19 20 宮島孝広 16 柳沢直子 20 101期 稲葉久美子 16 佐藤春樹 17 塚田浩太郎 17 羽田ゆう 20 102期 池田 信 16 竹下 悠 16 永井加奈子 20 山崎双葉 16

実人数 635人

80期 會田信子さん (旧姓山田)


**東京女子医大看護学部
講師で活躍**

東京・市谷河田町の高台を占める東京女子医大病院。著名な心臓系の医療施設が中心となる通称「女子医大通り」から百メートルほど入り、古びた四階建ての公団住宅のような建物が女子医大看護学部の研究室だ。病院群の一角で迷いおろおろしているところへ會田さんは白衣姿で迎えに現れ「分かりにくくてすみません」と笑顔を見せてくれた。大学の先生とは思えない謙虚で優しいような女性、細面で笑うと細い目がますます細くなる。

平成10年に設置された看護学部で、老年看護学の講師をずっと務めている。看護士の卵となる学生数は約360人。その教えぶりは「きつと厳しくて怖いと思われるかもしれませんが」と自己評価する。會田さんは自ら看護師の世界を経験し、苦学しながら現場で学んできた。それが外面の優しさに似ず、芯の強さを感じさせる。

上田三中から高校に入ったのが80周年の年、つまり80期生というわけだ。自営の青果店が父の病気で店を閉め、貧しく、新聞配達などさまざまなアルバイトをしながらの高校生活だったとい

う。「1年生のときのあの応援練習がショックで怖くて、学校へ行くのをやめようかと悩んだ」。こうした悩みを英語の先生が課した「毎日英語で日記を書いてきなさい」という課題が救ってくれた。辞書を引きながら、悩みを英文日記にして提出すると、先生は必ず添削してくれたという。3年間この課題を続けたこと、それを先生が温かく見守ってくれたことが「私にとっての原点になっている」という。



長野の看護学校に入るときは「なぜ大学に行かないのか」と高校の担任に叱られたが、とても大学にいける経済状態ではなかった。卒業して長野病院に看護師として勤めたが、あるとき看護師に対する医師の対応に疑問を感じ率直に訴えたところ、病院の先生から「勉強する積もりがあるなら東京へ行きなさい」と推薦され、東京女子医大病院に移った。ここでの勤務ぶりが主任医師に評価されたのか「大学で勉強しなさい」と勧められ、周囲の理解も得られ、勤務を夜間にして明治学院大学に通学、その後休職してさらに聖路加大学の大学院に進み卒業した。「私は節目節目に“先生運”に恵まれました」と微笑むが、努力する姿勢があればこそ、良師も得られたのだろう。

會田さんはいま、「老人看護と運動療法」をテーマに老人ホームなど現場を回り研究を積み重ねている。また、看護師の国家試

験委員としても貢献、上田にある長野病院にも看護教育の指導をしている。會田さんに続く若い上田高校OGの活躍が期待されるところだ。

同窓会員の音楽活動

この秋から冬にかけての、同窓生による音楽活動についてお知らせいたします。一つは、ピアノ・リサイタルです。演奏者は91期(1993卒)の西澤真理子さん(在上田)です。

上田公演

8月21日(日) 14:00開演

上田市文化センター

チケット：1000円(特別料金)

東京公演

9月4日(日) 14:00開演

津田ホール

大人：3000円 学生2000円

曲目：ムソルグスキー「展覧会の絵」 プロコイェフ「戦争ソナタ第6番」

西澤真理子さん・プロフィール

上田高校、武蔵野音楽大学卒 1998年ロシア国立モスクワ音楽院オーディションに合格、2001年同音楽院を「最優秀」にて修了。在学中よりモスクワ音楽院ホール、東京椿山荘、上田文化会館、松本市音楽ホール等でソロリサイタル、「メサイア」ではN響メンバーと共演。ロシア音楽を中心として演奏活動しながら、2004年には、生まれ故郷の久保林のために「久保林賛歌」を作曲。国内各地のロータリークラブの講師としてロシア芸術を中心とした講演、ラジオ出演、執筆活動など幅広い分野で、精力的な活動を行っている。今年以降は同じ上田高校卒業(28期)の台湾人作曲家兼声楽家でもあった、江文也の作品の普及にも取り組む予定。(江文也については、会報72号にも紹介されています。)



もう一つは、ヴァイオリン・リサイタルのお知らせです。54期の前田喜美子さんはクラシック音楽に大変造詣が深く、ストラデバリウスのヴァイオリン「トライトン」(1730年製)を所有されています。これを友人のベルリン・フィルの元コンサートマスター、コリヤ・ブラッファアさんに貸与されています。ブラッファアさんは1963年ベルリン生まれ、5歳からヴァイオリンを学び始め、15歳でジュリアード音楽院に入学ドロシー・ディレイに師事。1993年に60年ぶりのベルリン生

まれのコンサートマスターとして、ベルリン・フィルの第1コンサートマスターに迎えられ、以降6年間その重責をにないました。現在はソリストとして活動されており、何度も来日されていますが、今年も、来る12月4日(日)東京でのリサイタルを予定されています。場所その他は現在未定ですが、7月2日の総会までに確定すれば、当日ご案内いたします。また関東同窓会のホームページにも掲載いたします。クラシック音楽ファンの方々は今からは非ご予定を立てておいて下さい。